

○ 平成30年度技術開発完了課題一覧

凡例	
技術開発基本目標 (旧)	1=水土保全重視、2=森林と人との共生重視、3=資源の循環利用 4=効率的で安全な作業、5=効率的な森林管理等
技術開発基本目標 (H25.4~)	①: 森林・林業の再生に資する造林・保育・生産技術の確立 ②: 公益的機能の高度発揮のための森林施業及び保全・利用技術の確立 ③: 効率的な森林管理及び健全な森林の育成技術の確立

通番号	森林管理局	局別番号	課題名	技術開発基本目標 H24まで	技術開発基本目標 H25~	開発期間			完了報告予定 年度	実施機関	技術開発課題を実施する試験地等	
						自	至	間			番号	名称
1	北海道	1	北海道における低コスト再造林を目指した天然更新活用型作業方法とその効果の検証		①	H27	H30	4	H30	森林整備第一課 森林技術・支援センター 森林総研北海道支所	1	上川北部署 上川南部署
2	関東	1	広葉樹人工林の育成方法の検討		②	H26	H30	5	H30	森林技術・支援センター、森林総研	A25A A25B	茨城署及び棚倉署：技術開発試験地
3	関東	2	様々な苗サイズに適応した下刈り技術の開発		①	H28	H30	3	H30	森林技術・支援センター、森林総研	A28	茨城署：技術開発試験地
4	関東	3	経年変化を考慮したコンテナ苗の成長特性解明試験		①	H28	H30	3	H30	森林技術・支援センター、森林総研	A29	茨城署：技術開発試験地
5	関東	4	クマ剥ぎ被害箇所でのヒノキアスナロの樹下植栽		②	H28	H30	3	H30	下越署、新潟県森林研究所		下越署：技術開発試験地
6	中部	1	点状複層林の上木伐採試験		②	H26	H30	5	H30	東信署、岐阜署、森林技術・支援センター	試験地 A5	奈良本山ヒノキ人工林天然更新実験
7	中部	2	ヒノキコンテナ苗による低コスト再造林のための植栽・初期保育技術の開発		①	H26	H30	5	H30	岐阜署 森林技術・支援センター		
8	九州	1	エリートツリーコンテナ苗を活用した低コスト造林技術の開発(下刈回数の削減と現地適応性試験)		①	H27	H30	4	H30	森林技術・支援センター 九州育種場		下刈回数の削減することでの低コスト造林の実証と、現地適応性試験 採穂による造林木への成長影響評価試験